

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38454
事業名	公園トイレユニバーサル化推進費					
評価担当課	所 属	建)みどりの推 みどりの推進課			電話番号	011-211-2525
施策名	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市バリアフリー基本構想等に基づき、公園施設のバリアフリー化を進めてきた。しかし、特に利用が多い主要公園等だけでもトイレの数は100棟を超え、更新時期に達していない建物も多いことから、全てがバリアフリー化できていない状況(現況:2023年／75%、目標:2029年／85%)。そんな中、高齢者や障害者、乳幼児連れ等の多様なニーズの社会的重要性が高まり、バリアフリーよりも整備水準が高い、ユニバーサルデザイン化という新たな考え方が全国的に広まっており、トイレの環境改善が急務となっている。
	事業内容(何を実施し)	2021年より、特に利用が多い主要公園等(16公園)にあるトイレの一部を対象に、ユニバーサルデザイン化をすすめている。 ・多機能便房の整備(バリアフリー化に加え、オストメイト用設備や乳児用設備等の利便設備を設置) ・一般トイレの洋式化 ・サイン等の充実 【具体的な取り組み内容】 ①トイレのユニバーサルデザイン化 ・大通公園(西11丁目)ほか
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民のほか、国内外からの観光客等の多様なニーズに配慮し、より多くの人が公園を快適に利用できるようにする。
	他都市の状況	・東京都では、オリンピック開催に合わせて、多様なニーズを持つ全ての人がストレスなく利用できるトイレ環境を実現するため、「多様な利用者のニーズに配慮したユニバーサルデザインのトイレづくりハンドブック」を作成し、トイレのユニバーサルデザイン化を進めた。 ・千葉県や京都市、神戸市等:「おもてなしトイレ」の取組
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	67,000 千円	うち特定財源	60,000 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度予算額	72,000 千円	うち特定財源	64,000 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度決算額	66,025 千円	うち特定財源	59,000 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和6年度予算額	77,000 千円	うち特定財源	69,000 千円	正規職員業務量	0.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	主要公園等におけるユニバーサルデザイン化したトイレの数		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3棟	6棟	6棟	9棟	13棟	19棟
	↓						
	アウトカム成果指標1	主要公園等のうちユニバーサルデザイン化が完了した公園の		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		13%	19%	19%	25%	38%	56%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標は令和9年度(2027年度)に目標値を達成する見込みであり、計画どおりに事業を進めることができる。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2			という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	引き続き計画的な整備を実施し、主要公園でのトイレのユニバーサルデザイン化を進める。